



# 『会社の偏差値』

強くて愛される会社になるための100の指標』

坂本 光司(著)  
あさ出版  
(2021/6)

「関わるすべての人たちが幸せになる会社作り」  
を指導されている坂本先生の著書です！

## 人を大切にする経営学会会長

千葉商科大学大学院商学研究科中小企業人本経営プログラム長 坂本 光司 先生

経営学者。静岡文化芸術大学教授、法政大学大学院教授などを歴任。現在は、人を大切にする経営学会会長、千葉商科大学大学院商学研究科中小企業人本経営(EMBA)プログラム長、日本でいちばん大切にしたい会社大賞審査委員長、他公職多数。徹底した現場派研究者であり、この50年間で訪問調査・アドバイスをした企業は8,000社以上となる。専門は中小企業経営論・地域経済論・福祉産業論。

「良い会社」とは、業績や知名度などが優れているからではなく、関係する人々の幸せの追求とそれを実現しようとする使命感を持って貢献している会社です。私自身、「人を大切にする経営」を目指している古田土会計で働いていて、自分も会社に大事にされているからこそ、中小企業で働いている社員や家族のために尽くしたい、と思えるのではないかと自分でも納得しております。

## 【以下引用】

・経営はすべて人、特に「人財」であり、モノやカネ、技術や情報はすべて人のための道具にすぎません。企業の付加価値を創造する要素は唯一、「人財」だからです。経営は1に人財、2に人財、3に人財で、企業の盛衰はすべて、人財の有無と活躍度で決まるといっても過言ではありません。

・会社とその仲間を愛し、トップや上司を信頼している社員は、企業に付加価値をもたらします。企業の成長を心から願い、上司の信頼や期待に応えようとするからです。そういう社員ばかりの企業が弱いはずがありません。

・企業が業績を上げるには、何よりお客様を大切にしなければなりません、お客様を大切にするためには、現場で顧客満足、顧客感動を担っている社員を大切にしなければならないのです。

・社会への貢献と共に大事なのが、社会的弱者に対する姿勢です。社員、社外社員、顧客を幸福にすることを使命とする企業は、社会的弱者の幸福にも積極的に手を差し伸べることが求められます。

いい会社とは何か、坂本先生は100の指標を元に自分の会社の評価をしてみてほしいと仰っております。経営者のみならず、これから就職を控えている学生さんや転職を考えている社会人の方がどんな会社で働くべきなのかの道標となってくれる一冊です。